

9月9日  
救急の日

# 救える命を守るために

町立国保診療所での夜間・休日救急体制の廃止や道立余別診療所の廃止。この間、町では救急救命士(消防職員)の増員や診療所への町内送迎バスの運行、近隣診療施設への救急車の受け入れ要請などの取り組みを行ってきました。一方、救急車の利用は大切な命を救うため正しい利用に心がけましょう。今月は救急車の適正利用と診療所送迎バスの昨年の利用状況についてお知らせします。

## 救急車は正しく

### 使いまじょうり

近年、全国で救急車の出動件数が急増している中、救急車を

要請した人の約半数が入院の必要のない軽症者でした。

積丹支署管内においても、表割の方が軽症者となつていきます。

中には「風邪をひいた」「歯が痛む」といった軽い症状の場合でも救急車を要請するなど、残念ながら本当に救急車が必要であったのかと疑問に思う事例もあります。

さらには、「救急車に乗れば急患扱いで待たずに受診できる。」や「無料で病院まで運んでくれる。」といった利用をする

方もいるようです。一方で、大きなやけどやいつもと違った頭痛などは、安易に我慢しようとすると脳梗塞や心停止といった取り返しのつかない症状に発展することもあります。特に、当町のように高齢化が進み一人暮らしのお年寄りも多く、一人で判断ができないことや我慢したり遠慮したりすることで病状が悪化することもあり、どうしても救急車の要請を必要とする地域事情もあります。

しかし、緊急事態に誰もが利用できる救急車の台数には限りがあり、このままでは救急車が必要な重傷患者のもとへの到着が遅れ、助かる命を救えなくなるおそれがあります。

本当に必要なときに、本当に必要な人が救急車を利用できるように、救急車の適正な利用にご協力をお願いします。

■救急車(119番)を呼ぶときは、落ち着いて次のことを知らせましょう。

①来てほしい場所の住所とその目標の建物。

②事故や病気の種類。

③けが人や急病人の数、年齢、性別。

救急出動の症状別人数

(単位:人)

区 分	積丹支署			古平支署	仁木支署	赤井川支署	余別市署
	17年	18年	19年				
軽症者(日帰り)	64	55	35	51	109	63	261
中等症者(入院20日以内)	65	69	68	84	78	57	315
重症者(入院21日以上)	30	26	17	38	52	11	136
死 亡	8	4	4	11	7	0	26
そ の 他	6	6	2	0	0	1	7
合 計	173	160	126	184	246	132	745

※数値は各年1月～12月。積丹支署以外の数値は平成19年実績。

平成19年の救急出動は前年対比約21%減で、人口の減少や夏季間の海水浴客の減などのほか、平成19年から診療所の夜間救急の廃止により「町民が保健予防や早期治療など健康への意識が高まりも出動減少の要因の一つと考えられます。」(積丹支署救急係談)

## 平成20年度 住民健診

平成20年度の住民健診が次の日程で実施されます。

町では、今年度からメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した「特定健康診査(特定健診)」と「特定保健指導」が始まったため、特定健診を今までの住民健診の中に位置づけて行い、該当者に特定保健指導を行っていきます。

まだ、申し込みされていない方は、お問い合わせください。

### ◆健診日程

実施日	実 施 会 場	受 付 時 間	
9月9日 (火)	神 岬 会 館	午前5:00～午前6:00	
	余別地区コミュニティセンター	午前7:00～午前10:00	
9月10日 (水)	野塚克雪センター	午前5:00～午前8:00	
	日司生活改善センター	午前9:00～午後10:30	
9月11日 (木)	入 舸 会 館	午前5:00～午前7:00	
	積丹町総合文化センター	午前8:00～午前10:00	
9月12日 (金)	積丹町総合文化センター	胃がん 検診あり	午前5:00～ 午前10:00
		胃がん 検診なし	午前10:00～ 午後1:00

※送迎については、居住地区や身体状況に応じ、対応しますので、ご相談ください。

④けが人や急病人の容態（簡潔に）

⑤持病があればその病名、かかりつけの病院。

※北後志管内での携帯電話からの通報は、余市消防署を経由し各町村の消防支署へ転送されず、通報の際には、必ず町村名を告げてください。

■休日等に利用できる救急医療機関を確認しましょう。

休日にはけが人や急病人が出たときのために、あらかじめ町広報紙や新聞等に掲載されている救急医療機関を確認しておきま

しょう。また、夜間の病院の照会には積丹支署におたずねください。

※積丹支署では、救急・応急手当に関する正しい知識や技術を身につけてもらうため、随時講習会の受付を行っていますので、ご利用ください。

【問い合わせ先】

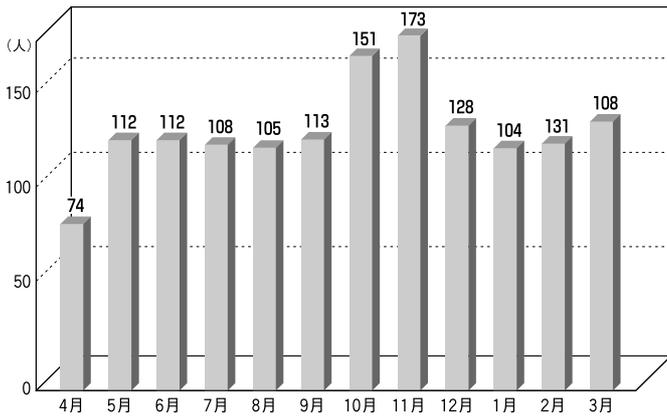
北後志消防組合積丹支署  
TEL 44-23352

地域医療を結ぶ心足

国保診療所送迎バス走る

町立国保診療所への送迎バス

国保診療所送迎バスの月別利用者数（平成19年度）



平成19年4月から平成20年3月の間の利用者数合計は延べ1,419人で、1回あたりで割り返すと約14人の利用がありました。平成20年4月から7月までの利用者数は延べ529人で、前年同期の利用者数と比べて123人(約30%)の利用増となっています。

は、道立余別診療所の廃止や野塚町丸山を經由する生活バス路線の廃止に伴い、平成19年4月から町が運行しています。

これは、毎週火・金曜日の岬の湯しやこたんの送迎バスを神岬町から入舸経由で、また野塚小学校のスクールバスを丸山地区で、それぞれの空き時間を活用して診療所までの送迎を行っています。

町では、運転免許を持っていない、自家用車がない、送迎してくれる人がいないといった人たちのために地域唯一の診療所への通院に必要な「地域の足」としての役割を果たすことを目的に運行しています。

「診療所への送迎バス」という明確な運行目的がある一方で、一般の買い物などで送迎バスを利用される方もいるようです。このように本来の目的から外れた利用が増えると中央バスの減便や送迎バスの増車に伴う財政負担などへの影響が懸念されます。

利用者の皆さんには、ルールを守った利用をお願いします。

■これまでの住民健診と変わったことは？

特定健診・特定保健指導が始まったため、基本健康診査の受診対象者は、次のとおりとなります。

町内に住所を有する20歳以上で、

(1)国民健康保険被保険者または、後期高齢被保険者の方

(2)生活保護受給世帯の方

(※被用者保険(社会保険等)の方については、各事業主にお問い合わせください。なお、各種がん検診等は従来どおり被用者保険(社会保険等)の方も受診できます。)

■基本健康診査の健診内容は？

従来どおりの健診内容です。

◆健診項目

問診・身体計測・医師の診察・血圧測定・血液検査・尿検査・貧血検査・心電図検査・眼底検査・生活機能評価(65歳以上の方)

■特定健診・特定保健指導の目標数値はあるの？

町国民健康保険では、平成24年度時点で次の達成目標数値を設定しています。

◆特定健診受診率 65%  
◆特定保健指導実施率 45%

なお、目標の達成状況に応じて平成25年度から国の助成が、上下10%(上限)で調整されるため、皆さんが負担している国保料(税)にも影響が懸念されます。

なお、平成19年度の受診率は約30%で、町では未受診者に対し電話や訪問により受診勧誘に努め受診率向上に取り組んでいます。

■住民健診の検査料金は？  
次のとおりです。

区分	自己負担金	町等負担金	検査料金
20歳～64歳	2,200円	2,523円	7,623円
65歳～74歳	1,400円	6,748円	8,148円
75歳以上	400円	7,748円	8,148円

【問い合わせ先】

町住民福祉課(TEL 44-2111)